

対エクアドル草の根・人間の安全保障無償資金協力

「サリナス市津波緊急警報設備整備計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「サリナス市津波緊急警報設備整備計画」のための、当館とサリナス市による贈与契約署名式が行なわれました。

供与額： 11,865,600円
贈与契約締結日： 2017年3月22日

サンタ・エレーナ県サリナス市は、当国首都キト市から南西方約560kmの沿岸部に所在し、同市の人口は68,675人です。ナスカプレートと南アメリカプレートの境界の地震多発地帯に位置し、加えてエル・ニーニョ現象の影響を受ける東太平洋赤道付近にも位置する同市では、地震・津波・洪水の3つの自然災害の脅威にさらされています。幸いにも歴史的に大きな津波被害に遭遇した記録は今のところありませんが、市内の大半の地域が海拔5m以下である同市は、津波や洪水が発生した際甚大な被害を受ける可能性が高いと考えられています。また、JICAエクアドル支所による2015年度国別研修「津波災害管理コミュニティ能力強化」に、同市長と危機管理部長が参加しました。右研修を受けた同市が作成したアクションプランは、2016年2月に市議会で承認され、条例に組み込まれる過程にあります。同市は防災災害対策のJOCVの要請も出しており、今後の相乗効果が期待できます。

本計画は、前述の地区において津波被害想定地域内6箇所に津波緊急警報設備を整備し、緊急時における住民の安全確保の向上に貢献しようとするものです。

計画実施前

